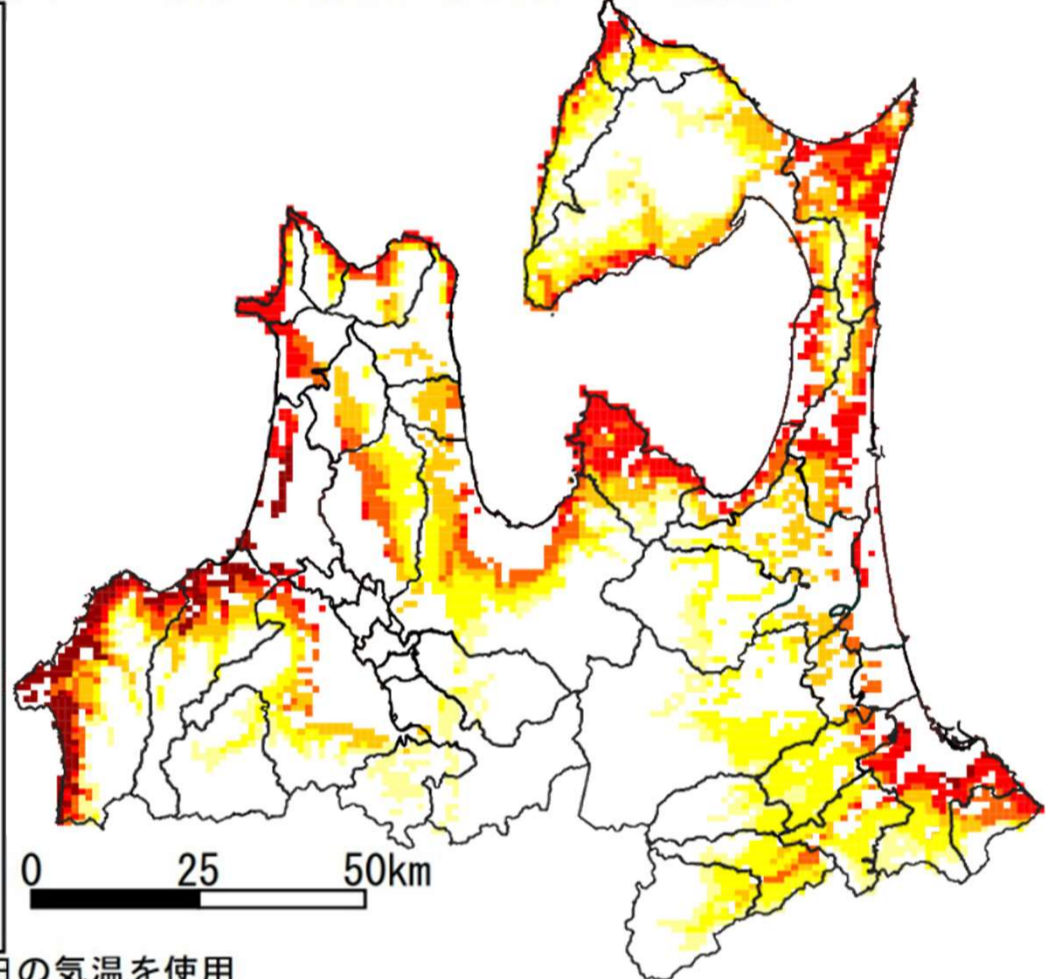


改良版ナラ枯れ被害ハザードマップを作成しました

2024年3月に、カシノナガキクイムシの生育調査や生息調査の結果を用いて、気温データに基づくナラ枯れ被害ハザードマップを作成し、公表しました。今回、そのハザードマップに青森県における主要なナラ枯れ被害樹種であるミズナラ・カシワ、コナラ・クリの植生分布データを反映させた改良版ナラ枯れ被害ハザードマップを作成しました。

カシノナガキクイムシが侵入した場合の危険度（定着または被害発生）

■ 危険度：極めて高い	(氷点下日数55日以上が0年かつ 1,175日°Cが7~8年)
■ 危険度：非常に高い	(氷点下日数55日以上が0年かつ 1,175日°Cが1~6年) (氷点下日数55日以上が1~2年かつ 1,175日°Cが7~8年)
■ 危険度：とても高い	(氷点下日数55日以上が0年かつ 1,175日°Cが0年) (氷点下日数55日以上が1~2年かつ 1,175日°Cが1~6年) (氷点下日数55日以上が3~4年かつ 1,175日°Cが7~8年)
■ 危険度：高い	(氷点下日数55日以上が1~2年かつ 1,175日°Cが0年) (氷点下日数55日以上が3~4年かつ 1,175日°Cが1~6年) (氷点下日数55日以上が5~6年かつ 1,175日°Cが7~8年)
■ 危険度：やや高い	(氷点下日数55日以上が3~4年かつ 1,175日°Cが0年) (氷点下日数55日以上が5~6年かつ 1,175日°Cが1~6年) (氷点下日数55日以上が7~8年かつ 1,175日°Cが7~8年)
■ 危険度：中	(氷点下日数55日以上が5~6年かつ 1,175日°Cが0年) (氷点下日数55日以上が7~8年かつ 1,175日°Cが1~6年)



※2015年7月1日~2023年6月30日の気温を使用

ナラ枯れ被害ハザードマップ（ナラ類分布データ反映版）

【活用場面】 ナラ類が面的に分布する森林を対象にしたナラ枯れ被害防除対策や監視業務

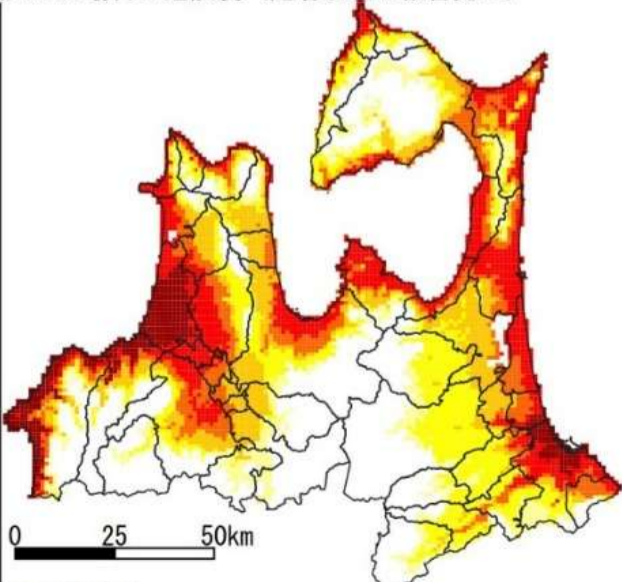
【作成方法】 従来のナラ枯れ被害ハザードマップ(1)に、ナラ枯れ被害に対応した東北地方の森林植生マップ(2)の情報を統合し、ナラ類が分布しているメッシュのみを表示させた新たなハザードマップを作製しました。

(1)伊藤昌明(2024) ナラ枯れ被害ハザードマップの作製. 令和5年度青森県産業技術センター林業研究所報告. 25-28

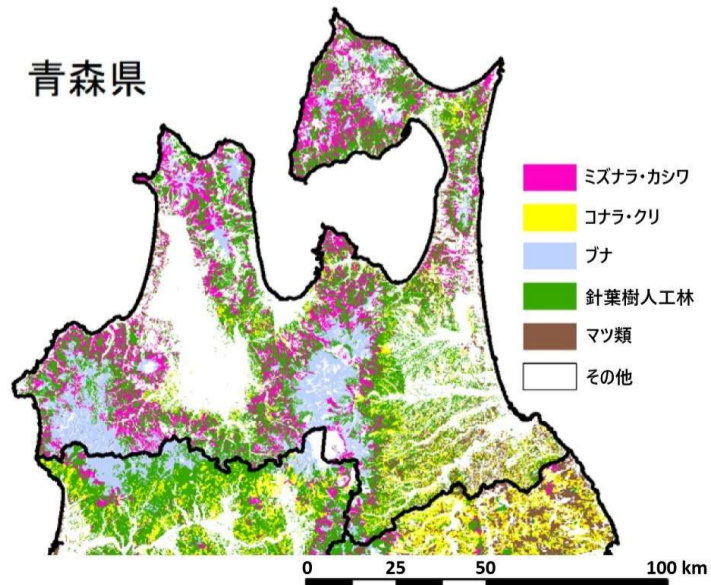
(2)近藤洋史, 斉藤正一(2025) ナラ枯れ被害に対応した東北地方の森林植生マップの作成. 山形大学紀要(農学) 19(4). 139-147

カシノナガキクイムシが侵入した場合の危険度（定着または被害発生）

■ 危険度：極めて高い	(氷点下日数55日以上が0年かつ 1,175日°Cが7~8年)
■ 危険度：非常に高い	(氷点下日数55日以上が0年かつ 1,175日°Cが1~6年) (氷点下日数55日以上が1~2年かつ 1,175日°Cが7~8年)
■ 危険度：とても高い	(氷点下日数55日以上が0年かつ 1,175日°Cが0年) (氷点下日数55日以上が1~2年かつ 1,175日°Cが1~6年) (氷点下日数55日以上が3~4年かつ 1,175日°Cが7~8年)
■ 危険度：高い	(氷点下日数55日以上が1~2年かつ 1,175日°Cが0年) (氷点下日数55日以上が3~4年かつ 1,175日°Cが1~6年) (氷点下日数55日以上が5~6年かつ 1,175日°Cが7~8年)
■ 危険度：やや高い	(氷点下日数55日以上が3~4年かつ 1,175日°Cが0年) (氷点下日数55日以上が5~6年かつ 1,175日°Cが1~6年) (氷点下日数55日以上が7~8年かつ 1,175日°Cが7~8年)
■ 危険度：中	(氷点下日数55日以上が5~6年かつ 1,175日°Cが0年) (氷点下日数55日以上が7~8年かつ 1,175日°Cが1~6年)



青森県



※2015年7月1日~2023年6月30日の気温を使用
※「温量によるブナ科樹木萎凋病ハザードマップ」には農研機構メッシュ農業気象データ (The Agro-Meteorological Grid Square Data, NARO) (大野ら, 2016) (<https://amu.rd.naro.go.jp/>) 及びそのマニュアル (小南ら, 2019) を利用した。

ナラ枯れ被害ハザードマップ (1)

ナラ枯れ被害に対応した東北地方の森林植生マップ (抜粋) (2)